

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 4 年 11 月 10 日(2022.11.10)

【公開番号】特開 2021-87636(P2021-87636A)
【公開日】令和 3 年 6 月 10 日(2021.6.10)
【年通号数】公開・登録公報 2021-026
【出願番号】特願 2019-219894(P2019-219894)
【国際特許分類】

A 6 1 B 3/16(2006.01)

10

【F I】

A 6 1 B 3/16 3 0 0

【手続補正書】
【提出日】令和 4 年 11 月 1 日(2022.11.1)
【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被検眼の眼圧を測定するための超音波眼圧計であって、
振動子を有し、前記被検眼に向けて超音波を発生させる超音波発生手段と、
前記超音波発生手段の出力を検出する検出手段と、
前記検出手段の検出信号を監視する制御手段と、を備え、
前記検出手段は、前記超音波発生手段から前記被検眼に向けて照射される超音波の照射
経路外に配置されることを特徴とする超音波眼圧計。

【請求項 2】

前記検出手段は、前記超音波発生手段の側方または後方に配置されることを特徴とする
請求項 1 の超音波眼圧計。

30

【請求項 3】

前記制御手段は、前記検出手段の検出信号の大きさに基づいて、前記超音波発生手段の
異常の有無を判定することを特徴とする請求項 1 または 2 のいずれかの超音波眼圧計。

【請求項 4】

前記制御手段は、前記検出手段の検出信号の周波数に基づいて、前記超音波発生手段の
異常の有無を判定することを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれかの超音波眼圧計。

【請求項 5】

前記制御手段は、前記検出手段による検出状態を表示手段に表示させることを特徴とす
る請求項 1 ~ 4 のいずれかの超音波眼圧計。

40

【請求項 6】

前記制御手段は、前記検出手段の検出信号に基づいて前記照射経路内の超音波の出力を
算出することを特徴とする請求項 1 ~ 5 のいずれかの超音波眼圧計。